

様式9

建設機械の保有状況一覧表  
(記入例)

審査基準日: 令和4年 3月 31日

申請者 株式会社〇〇建設  
代表取締役 〇〇 △△

No.	建設機械の種類	メーカー名	型式	製造・車体番号	種別又は規格	所有・リースの別	取得年月日		検査実施等年月日
							リース開始日	リース期間満了日	
1	ショベル系掘削機・トラクターショベル・ブルドーザー・ モーターグレーダー・移動式クレーン・ダンプ車 高所作業車・締固め用機械・解体用機械	△製作所	ZZ-99EFG	0123456	バックホウ	自社所有 リース	平成30年 10月 1日	令和5年 9月 30日	令和3年 9月10日
2	ショベル系掘削機・トラクターショベル・ブルドーザー・ モーターグレーダー・移動式クレーン・ダンプ車 高所作業車・締固め用機械・解体用機械	□□建機	YY-0000	9876543	16トン	自社所有 リース	平成19年 11月 23日		令和2年11月22日
3	ショベル系掘削機・トラクターショベル・ブルドーザー・ モーターグレーダー・移動式クレーン・ダンプ車 高所作業車・締固め用機械・解体用機械	○×自動車	XXX-AABB	AA11BB00022	ダンプフルトレーラ	自社所有 リース	平成22年 1月 21日		令和4年 1月16日
4	ショベル系掘削機・トラクターショベル・ブルドーザー・ モーターグレーダー・移動式クレーン・ダンプ車 高所作業車・締固め用機械・解体用機械	株式会社☆	AA-000GG	1111111	2メートル	自社所有 リース	平成27年 12月 23日		令和4年 2月14日

【記載要領】

※項番「64」で記入した評価対象建設機械のうち15台分までについて記載すること。

※「建設機械の種類」欄は、該当するものを丸で囲むこと。

※「種別又は規格」欄は、「建設機械の種類」欄にて選択した機種ごとに下記につき記載すること。

- ①「ショベル系掘削機」にあつては、ショベル、バックホウ、ドラグライン、クラムシェル、クレーン又はパイロドライパーのアタッチメントを有する旨。(例:バックホウ)
- ②「ブルドーザー」にあつては、自重。(例:3.89トン)
- ③「トラクターショベル」にあつては、バケット容量。(例:1.2立方メートル)
- ④「モーターグレーダー」にあつては、自重。(例:10.0トン)
- ⑤「移動式クレーン」にあつては、つり上げ荷重。(例:7.0トン)
- ⑥「大型ダンプ車」にあつては、自動車検査証の「車体の形状」欄に記載されている種類(例:ダンプフルトレーラ)。
- ⑦「高所作業車」にあつては、作業床の高さ(例:2メートル)
- ⑧締固め用機械にあつては、その種類
- ⑨解体用機械にあつては、その種類

※「所有・リースの別」欄は、「自社所有」又は「リース」の該当する方を○で囲むこと。

※「所有・リースの別」欄において「自社所有」を選択した場合は「取得年月日」を、「リース」を選択した場合は「リース開始日」及び「リース期間満了日」を記載すること。

※「検査実施等年月日」については、新車の場合は空欄とし、定期検査を実施している場合は「建設機械の種類」欄にて選択した機種ごとに下記につき記載すること。

- ①「ショベル系掘削機」「ブルドーザー」「トラクターショベル」「モーターグレーダー」「高所作業車」「締固め用機械」「解体用機械」  
にあつては、特定自主検査記録表に記載された検査年月日。
- ②「移動式クレーン」にあつては、移動式クレーン検査証に記載された有効期間(審査基準日が含まれるもの)の開始日。
- ③「ダンプ車」にあつては、自動車検査証に記載された有効期間の満了する日の翌日の1年前の日。(左記の日付が審査基準日より後である場合は、自動車検査証  
に記載された有効期間の満了する日の翌日の2年前の日。)